



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社

コード番号 6835 URL <http://www.at-global.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 大嶋 章禎

問合せ先責任者 (役職名) IR部長

(氏名) 徳光 盛次

TEL 03-5437-6007

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	13,913	10.8	△1,457	—	△1,996	—	△2,055	—
25年12月期第2四半期	12,555	△1.7	△2,301	—	△1,017	—	△1,016	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △1,855百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 △1,497百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△18.88	—
25年12月期第2四半期	△8.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	24,573	8,732	32.8
25年12月期	27,608	10,895	37.1

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 8,067百万円 25年12月期 10,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,300	14.6	700	—	550	△27.8	100	4.8	0.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期2Q	108,864,545 株	25年12月期	120,839,690 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

26年12月期2Q	0 株	25年12月期	11,975,145 株
-----------	-----	---------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	108,864,545 株	25年12月期2Q	118,586,358 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しや将来の予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績等はさまざまな要因により、大きく異なる可能性があります。

(詳細は、[添付資料]P. 3「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。)

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成26年8月12日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、大企業を中心とした企業収益や雇用環境の改善により設備投資や個人消費の増加も見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。海外に目を向けますと、米国では雇用情勢の改善など本格的な景気を持ち直しが見られますが、経済停滞に悩む欧州では、ユーロ高やウクライナ情勢への懸念などが下振れリスクとなっており、先行きの見通しは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中で、当社グループは引き続きソリューション販売を強化し、新規ソリューションやサービスの開発・提案に取り組んでまいりました。

その結果、日本、米州での販売が好調となり、連結売上高は139億13百万円（前年同期比10.8%増）と大幅に増加しました。損益面では、ソリューション販売などが好調となり売上総利益率が前年同期と比べ1.5ポイント上昇したことなどから、営業損失は14億57百万円（前年同期は23億1百万円の損失）と改善いたしました。一方で、米ドルに対し前期末より円高となったことから外貨建て資産の評価損として為替差損4億85百万円（前年同期は13億34百万円の為替差益）を計上し、経常損失は19億96百万円（前年同期は10億17百万円の損失）、四半期純損失は20億55百万円（前年同期は10億16百万円の損失）となりました。

当社グループの所在地域別のセグメント売上高の概要は、次のとおりです。

〔日本〕

日本では、引き続きダイレクトタッチの営業に注力し、顧客志向の提案力強化に努めてまいりました。企業業績の改善を背景とした設備投資の増加に伴い、製造業、医療機関向けの販売が好調となり、売上高は、前年同期比12.9%増の67億19百万円となりました。

〔米州〕

米州では、米国において公共预算の復活が見られたことなどから、第2四半期連結会計期間（4月～6月）において大幅に販売が増加しました。また、中南米においては、営業体制を再構築したことに加え、とりわけ競技場や運送業界における監視カメラソリューション案件などが好調となりました。その結果、米州全体での売上高は前年同期比18.5%増の30億29百万円と大幅に増加となりました。

〔EMEA（ヨーロッパ、中東及びアフリカ）〕

EMEAでは、欧州の景気低迷が長引く中で市場での価格競争が激しさを増し、製品販売数は増加しているものの案件単価が下落する傾向が見られました。その結果、当社グループの中東、中・東欧およびスペインにおける売上は微増となったものの、フランス、イギリス、イタリアなどでは販売が振るわず、売上高は前年同期比0.3%増の28億65百万円にとどまりました。

〔アジア・オセアニア〕

アジア・オセアニアでは、これまで好調であったタイでの案件が、政情不安により減速しました。一方で、ニュージーランド教育省の学校ネットワーク更新の継続案件を始めとして、フィリピンやマレーシアでの販売が伸長し、売上高は前年同期比9.1%増の12億98百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は245億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億34百万円減少しました。流動資産は163億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億41百万円減少しました。これは主に、商品及び製品が7億87百万円増加した一方で、現金及び預金が5億92百万円、受取手形及び売掛金が29億91百万円減少したことによるものです。固定資産は82億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億92百万円減少しました。

(負債)

負債合計は158億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億70百万円減少しました。これは主に長期借入金
が4億42百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は87億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億63百万円減少しました。これは主に四半期純損
失20億55百万円を計上したことによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.3ポイント低下となる32.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、38億25百万円となり、前第2四半期連結会計期間
末に比べ1億97百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が増加したものの、その主な要因が為替差損
であったことから、前第2四半期連結累計期間とほぼ同額の7億55百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億8百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ16億89百
万円の支出減となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは8億71百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ4億4百万
円の支出増となりました。これは主に自己株式の取得に係わる支出が減少した一方で、長期借入れによる収入が減
少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想に関する事項につきましては、平成26年2月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。なお、第1四半期連結会計期間において、アライドテレ
シス株式会社よりコンシューマネットワーク事業を分社化した株式会社コレガを新たに連結の範囲に含めておりま
す。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,418,126	3,825,971
受取手形及び売掛金	8,687,869	5,696,361
商品及び製品	3,655,058	4,442,832
仕掛品	96,423	169,344
原材料及び貯蔵品	548,782	695,304
その他	1,695,442	1,649,634
貸倒引当金	△127,260	△146,981
流動資産合計	18,974,442	16,332,469
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,747,007	2,732,333
その他(純額)	3,298,201	3,127,135
有形固定資産合計	6,045,209	5,859,468
無形固定資産		
投資その他の資産	1,128,564	1,022,898
その他	1,476,216	1,374,757
貸倒引当金	△16,231	△15,841
投資その他の資産合計	1,459,984	1,358,915
固定資産合計	8,633,757	8,241,282
資産合計	27,608,200	24,573,751
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,401,431	2,155,017
1年内返済予定の長期借入金	1,518,665	1,388,284
未払法人税等	357,768	180,896
賞与引当金	229,253	294,116
前受収益	2,712,089	2,908,662
その他	2,751,827	2,734,880
流動負債合計	9,971,036	9,661,857
固定負債		
長期借入金	5,143,767	4,701,242
退職給付引当金	771,350	775,829
その他	826,049	702,433
固定負債合計	6,741,167	6,179,506
負債合計	16,712,204	15,841,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,977,178	9,977,178
資本剰余金	169,503	169,503
利益剰余金	658,331	△2,772,132
自己株式	△1,048,096	-
株主資本合計	9,756,917	7,374,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	865	2,459
繰延ヘッジ損益	41,008	△5,545
為替換算調整勘定	451,454	696,309
その他の包括利益累計額合計	493,328	693,223
新株予約権	645,750	664,614
純資産合計	10,895,995	8,732,387
負債純資産合計	27,608,200	24,573,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	12,555,126	13,913,262
売上原価	4,841,734	5,152,979
売上総利益	7,713,392	8,760,283
販売費及び一般管理費	10,015,266	10,217,411
営業損失(△)	△2,301,874	△1,457,128
営業外収益		
受取利息	4,141	2,727
受取配当金	122	129
持分法による投資利益	-	14,362
為替差益	1,334,329	-
助成金収入	4,474	9,722
その他	14,859	8,974
営業外収益合計	1,357,927	35,915
営業外費用		
支払利息	56,213	77,493
持分法による投資損失	6,700	-
為替差損	-	485,469
その他	10,657	12,049
営業外費用合計	73,570	575,012
経常損失(△)	△1,017,518	△1,996,224
特別利益		
固定資産売却益	48	-
新株予約権戻入益	4,067	6,734
特別利益合計	4,115	6,734
特別損失		
固定資産売却損	3,147	-
事業再編損	8,910	-
特別損失合計	12,058	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,025,460	△1,989,490
法人税、住民税及び事業税	86,255	103,663
過年度法人税等	△12,432	-
法人税等調整額	△82,749	△37,378
法人税等合計	△8,926	66,284
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,016,534	△2,055,774
四半期純損失(△)	△1,016,534	△2,055,774

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,016,534	△2,055,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	1,593
繰延ヘッジ損益	642	△46,553
為替換算調整勘定	△481,685	244,855
その他の包括利益合計	△481,103	199,895
四半期包括利益	△1,497,637	△1,855,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,497,637	△1,855,878
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,025,460	△1,989,490
減価償却費	427,556	507,555
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,064	23,936
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,691	66,917
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,287	9,808
受取利息及び受取配当金	△4,263	△2,856
支払利息	56,213	77,493
為替差損益(△は益)	△1,290,824	492,692
持分法による投資損益(△は益)	6,700	△14,362
助成金収入	△4,474	△9,722
固定資産売却損益(△は益)	3,099	-
事業再編損	8,910	-
売上債権の増減額(△は増加)	2,930,308	2,885,752
たな卸資産の増減額(△は増加)	△364,783	△1,128,345
仕入債務の増減額(△は減少)	75,299	△159,149
前受収益の増減額(△は減少)	186,628	206,344
その他	42,694	146,258
小計	1,015,134	1,112,833
利息及び配当金の受取額	4,263	2,856
利息の支払額	△40,544	△77,427
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△216,067	△283,167
事業再編による支出	△3,503	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	759,281	755,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,862,144	△260,857
有形固定資産の売却による収入	240	-
無形固定資産の取得による支出	△243,441	△238,803
その他	6,888	90,738
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,098,457	△408,922

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△308,612	-
長期借入れによる収入	2,100,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△1,022,777	△827,605
新株予約権の行使による株式の発行による収入	127,278	-
自己株式の取得による支出	△487,893	-
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△518,106	-
配当金の支払額	△344,004	△326,770
その他	△12,854	△17,126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△466,969	△871,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	222,391	△66,825
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,583,753	△592,154
現金及び現金同等物の期首残高	5,211,835	4,418,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,628,081	3,825,971

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	5,950,008	2,556,100	2,858,624	1,190,393	12,555,126	—	12,555,126
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	354,366	72,447	4,143	3,689,161	4,120,118	(4,120,118)	—
計	6,304,375	2,628,547	2,862,767	4,879,555	16,675,245	(4,120,118)	12,555,126
セグメント損失(△)	△1,847,928	△57,585	△222,862	△144,848	△2,273,225	△28,648	△2,301,874

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント損失の調整額には、セグメント間取引消去29,789千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等△58,438千円が含まれております。

3. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	6,719,807	3,029,093	2,865,819	1,298,541	13,913,262	—	13,913,262
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	304,260	27,179	93,780	4,871,464	5,296,685	(5,296,685)	—
計	7,024,068	3,056,273	2,959,600	6,170,006	19,209,947	(5,296,685)	13,913,262
セグメント利益又は損失(△)	△1,707,700	247,898	△15,603	58,402	△1,417,003	△40,124	△1,457,128

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去31,374千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等△71,498千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月8日 取締役会	普通株式	349百万円	3円	平成24年12月31日	平成25年3月28日	利益剰余金

2 株主資本の金額の著しい変動

当社は、当第2四半期連結累計期間において、平成25年4月5日及び平成25年6月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間において自己株式が487,889千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において535,987千円となりました。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年2月12日 取締役会	普通株式	326百万円	3円	平成25年12月31日	平成26年3月26日	利益剰余金

2 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年3月4日開催の取締役会において、自己株式の消却を決議し、平成26年3月18日に自己株式11,975,145株を消却しております。これにより、第1四半期連結会計期間において利益剰余金及び自己株式が1,048,096千円減少しております。